

忙しい看護婦

- (1) 滋賀県の裁判所が 42 歳の女性に多重殺人の罪で死刑を宣告した。
- (2) その女性は生命保険の保険金目的で患者を殺害した罪で起訴された。
- (3) 女性は末期患者のためのホスピスで働き、家族に見捨てられた患者の世話をしていた。
- (4) 彼女の思いやりと親密な態度が、患者に彼女を受取人とする保険証書に署名するよう説得するのに役立った。
- (5) 患者が次々と亡くなって、彼女は突然裕福になった。
- (6) 警察の捜査官は後になって、女性が患者の死を早めるために毒物を注射していたことを知った。
- (7) 警察は女性が犯した殺人の数は自分たちが暴いた殺人の数よりも多いはずだと考えている。
- (8) 彼女の死刑は間もなく執行される。